



## 2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年7月31日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社NSD  
 コード番号 9759 URL <https://www.nsd.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今城 義和  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレートセクレタリー部長 (氏名) 鯛 真輔 (TEL) 03-3257-1250  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	27,298	8.0	3,557	7.9	3,635	9.0	2,182	4.4
2025年3月期第1四半期	25,281	5.3	3,297	0.9	3,335	2.0	2,090	24.9

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 2,078百万円(△2.9%) 2025年3月期第1四半期 2,140百万円(11.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	28.54	—
2025年3月期第1四半期	27.19	27.19

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	83,427	63,727	75.3
2025年3月期	90,485	68,252	74.5

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 62,837百万円 2025年3月期 67,416百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	87.00	87.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	89.00	89.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	54,500	4.7	7,600	1.0	7,700	1.4	5,000	2.1	65.39
通期	113,200	5.0	17,100	1.5	17,300	1.5	12,000	1.7	156.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	86,000,000株	2025年3月期	86,000,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	9,535,947株	2025年3月期	9,535,723株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	76,464,128株	2025年3月期1Q	76,881,344株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

- ・決算補足説明資料は、2025年7月31日 (木) に当社ホームページに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	10
(収益認識関係) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

## 【環境認識】

当第1四半期における我が国経済につきましては、エネルギーや原材料価格等の物価上昇や、米国の通商政策の動向等の不確定要素もありましたが、国内景気は雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、物価上昇の継続が個人消費に及ぼす影響や、米国の政策動向や中国景気の停滞等、我が国の景気を下押しするリスクがあり、今後の動向には引き続き留意が必要です。

このようななか、当社グループが属する情報サービス産業につきましては、堅調な企業業績もあり、引き続き経営課題の解決に向けたDXや生成AIの活用を目的にIT投資が進むとともに、基幹システムの刷新ニーズ等もあり、受注環境は良好に推移しました。

## 【当第1四半期連結累計期間の取り組み】

当社グループは、5カ年の中期経営計画において、2026年3月期までに連結売上高1,000億円を超える企業グループを目標に掲げ、DX領域への対応強化やM&Aを活用した業績拡大を進めてきました。この結果、2024年3月期において2年前倒しで当該目標を達成し、中期経営計画の最終年度である当第1四半期においても、戦略として掲げた施策を着実に実行し、一層の業績拡大を推進すべくさまざまな取り組みを進めています。

システム開発事業につきましては、社会的ニーズの強い新技術やクラウドを利用したDX関連のシステム開発事業を成長ドライバーとし、持続的な拡大を進めています。また、2024年12月に基本合意した株式会社日立製作所との業務提携につきましては、生成AI等の技術進展や人材交流による技術水準の向上及び海外グループ会社の活用を通じて、より付加価値のあるサービスの提供を行うべく、具体的施策を進めています。

ソリューション事業につきましては、第2の収益の柱とするため、イノベーション戦略事業本部において、市場ニーズを捉えた新たなソリューションの創出と販売力の強化に取り組んでいます。足元では、医療・ヘルスケア分野等の利益率の向上が課題であり、改善に向けた取り組みを進めています。

## 【当第1四半期連結累計期間の実績】

当第1四半期連結累計期間の実績につきましては、受注環境が良好に推移したことから、以下のとおりとなりました。

単位：百万円

	2025年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	前年同期比	
			前年	比
システム開発事業	21,779	23,879	2,100	9.6%
ソリューション事業	3,502	3,418	△83	△2.4%
売上高	25,281	27,298	2,016	8.0%
DAS事業	11,524	12,426	902	7.8%
うち システム開発事業	8,021	9,008	986	12.3%
営業利益	3,297	3,557	259	7.9%
経常利益	3,335	3,635	299	9.0%
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,090	2,182	92	4.4%
EBITDA	4,001	4,178	177	4.4%
EBITDAマージン	15.8%	15.3%	△0.5ポイント	-

※ DAS事業とは、当社グループの注力事業で、DXを目的としたシステム開発事業、AI等の新技術を活用したシステム開発事業、及びソリューション事業をいいます。

※ EBITDAは「営業利益+減価償却費+のれん償却額」により算出しています。

売上高につきましては、システム開発事業で、産業ITや社会基盤ITの受注が大きく伸長した結果、前年同期比8.0%増収の27,298百万円となりました。このうち注力分野であるDAS事業につきましては、クラウドを利用したDX関連のシステム開発事業が前年同期比12.3%の増収となり引き続き伸長したものの、ソリューション事業の減収により、前年同期比7.8%増収の12,426百万円となりました。

営業利益は、ソリューション事業が不芳であったこと等を主因に、前年同期比7.9%増益の3,557百万円にとどまりました。

以上の結果、経常利益は前年同期比9.0%増益の3,635百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比4.4%増益の2,182百万円となりました。

#### 【セグメント別の実績】

セグメント別の実績は以下のとおりとなりました。

(セグメント別売上高)

単位：百万円

		2025年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	前年同期比	
システム 開発事業	金融IT	7,883	8,358	474	6.0%
	産業IT	5,957	6,767	810	13.6%
	社会基盤IT	5,101	5,723	621	12.2%
	ITインフラ	2,935	3,173	238	8.1%
ソリューション事業		3,505	3,421	△83	△2.4%
調整額		△102	△146	△44	-
合 計		25,281	27,298	2,016	8.0%

(セグメント別営業利益)

単位：百万円

		2025年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	前年同期比	
システム 開発事業	金融IT	1,417	1,592	174	12.3%
	産業IT	703	898	194	27.7%
	社会基盤IT	916	965	48	5.3%
	ITインフラ	501	507	6	1.3%
ソリューション事業		△85	△220	△134	△156.1%
調整額		△155	△185	△29	-
合 計		3,297	3,557	259	7.9%

※ セグメント間の内部取引を含んだ計数を記載しています。

※ 調整額とは、セグメント間取引消去額及び全社費用（セグメントに帰属しない一般管理費等）をいいます。

#### <システム開発事業（金融IT）>

金融向けソフトウェア開発事業につきましては、基幹システムの更改案件をはじめ既存案件の拡大により大手銀行を中心に堅調に伸長したほか、ネット銀行やカード会社からの受注も伸長したこと等から、売上高は前年同期比6.0%増収の8,358百万円となり、営業利益は12.3%増益の1,592百万円となりました。

#### <システム開発事業（産業IT）>

産業向けソフトウェア開発事業につきましては、自動車関連の製造業を中心に受注が順調に推移したことにより、売上高は前年同期比13.6%増収の6,767百万円となり、営業利益は27.7%増益の898百万円となりました。

#### <システム開発事業（社会基盤IT）>

社会基盤向けソフトウェア開発事業につきましては、通信業や運輸業からの受注が順調に推移したほか、公共団体、電気・ガス・水道業からの受注も堅調に推移したことから、売上高は前年同期比12.2%増収の5,723百万円となり、営業利益は5.3%増益の965百万円となりました。

<システム開発事業（ITインフラ）>

ITインフラ事業につきましては、銀行等の金融業や公共団体からのインフラ構築案件等の受注が引き続き堅調に推移したことにより、売上高は前年同期比8.1%増収の3,173百万円となりました。営業利益は、子会社における主要プロジェクトの延伸等により、前年同期比1.3%増益の507百万円となりました。

<ソリューション事業>

ソリューション事業につきましては、セキュリティや株主優待サービスは受注が堅調に推移し増収となったものの、医療・ヘルスケア等において減収となったため、売上高は前年同期比83百万円減収の3,421百万円となりました。また、減収に伴い営業利益は134百万円悪化し、220百万円の損失となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の減少3,735百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の減少5,057百万円などから前連結会計年度末比7,057百万円減少し、83,427百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金（前連結会計年度末は「買掛金」で表示）の減少602百万円、未払法人税等の減少1,784百万円などから前連結会計年度末比2,533百万円減少し、19,699百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益による増加2,182百万円、配当金支払いによる減少6,652百万円などから前連結会計年度末比4,524百万円減少し、63,727百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2025年5月8日に発表しました業績見通しに変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	27,358	23,623
受取手形、売掛金及び契約資産	22,783	17,726
有価証券	3,000	5,001
商品及び製品	430	536
仕掛品	5	12
原材料及び貯蔵品	187	186
その他	734	707
貸倒引当金	△66	△50
流動資産合計	54,432	47,743
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,931	2,021
土地	2,598	2,598
その他（純額）	778	716
有形固定資産合計	5,308	5,336
無形固定資産		
のれん	9,500	9,167
顧客関連資産	7,791	7,683
その他	1,111	1,122
無形固定資産合計	18,404	17,973
投資その他の資産		
投資有価証券	1,785	1,779
退職給付に係る資産	8,307	8,346
その他	2,248	2,249
貸倒引当金	△1	△2
投資その他の資産合計	12,340	12,373
固定資産合計	36,052	35,683
資産合計	90,485	83,427

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	-	4,779
買掛金	5,381	-
短期借入金	400	200
1年内返済予定の長期借入金	305	295
未払法人税等	3,512	1,727
賞与引当金	566	585
役員賞与引当金	-	20
株主優待引当金	68	63
受注損失引当金	15	27
その他	4,475	4,777
流動負債合計	14,725	12,477
固定負債		
長期借入金	1,152	1,014
退職給付に係る負債	1,488	1,539
その他	4,866	4,667
固定負債合計	7,507	7,222
負債合計	22,233	19,699
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,205	7,205
資本剰余金	6,811	6,812
利益剰余金	62,655	58,185
自己株式	△13,386	△13,387
株主資本合計	63,286	58,816
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	590	587
土地再評価差額金	△8	△8
為替換算調整勘定	504	455
退職給付に係る調整累計額	3,043	2,986
その他の包括利益累計額合計	4,129	4,020
非支配株主持分	836	890
純資産合計	68,252	63,727
負債純資産合計	90,485	83,427



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2025年4月1日 至2025年6月30日)
売上高	25,281	27,298
売上原価	19,101	21,039
売上総利益	6,179	6,258
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	866	852
賞与引当金繰入額	83	93
役員賞与引当金繰入額	22	20
退職給付費用	23	20
福利厚生費	320	262
賃借料	168	184
減価償却費	162	170
研究開発費	107	120
のれん償却額	414	330
その他	712	645
販売費及び一般管理費合計	2,882	2,700
営業利益	3,297	3,557
営業外収益		
受取利息	3	10
受取配当金	18	16
その他	48	57
営業外収益合計	70	84
営業外費用		
支払利息	6	4
為替差損	12	-
事務所移転費用	10	-
その他	3	1
営業外費用合計	32	6
経常利益	3,335	3,635
特別利益		
投資有価証券売却益	-	3
その他	-	0
特別利益合計	-	3
税金等調整前四半期純利益	3,335	3,639
法人税等	1,218	1,450
四半期純利益	2,116	2,189
非支配株主に帰属する四半期純利益	26	6
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,090	2,182

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2025年4月1日 至2025年6月30日)
四半期純利益	2,116	2,189
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△46	△3
為替換算調整勘定	104	△50
退職給付に係る調整額	△33	△57
その他の包括利益合計	23	△111
四半期包括利益	2,140	2,078
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,109	2,073
非支配株主に係る四半期包括利益	31	4

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

また、一部の子会社につきましては、前連結会計年度の実際実効税率を用いて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	システム開発事業				ソリューション 事業	計		
	金融IT	産業IT	社会基盤IT	ITインフラ				
売上高								
外部顧客への売上高	7,883	5,879	5,091	2,924	3,502	25,281	—	25,281
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	78	10	10	2	102	△102	—
計	7,883	5,957	5,101	2,935	3,505	25,383	△102	25,281
セグメント利益	1,417	703	916	501	△85	3,453	△155	3,297

(注) 1. セグメント利益の調整額△155百万円は、全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結累計期間に株式会社アートホールディングスの株式を追加取得しております。当該事象によるのれんの増加額は、システム開発事業(金融IT)254百万円、システム開発事業(産業IT)187百万円、システム開発事業(社会基盤IT)20百万円、システム開発事業(ITインフラ)11百万円、ソリューション事業98百万円です。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2025年4月1日至2025年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	システム開発事業				ソリューション 事業	計		
	金融IT	産業IT	社会基盤IT	ITインフラ				
売上高								
外部顧客への売上高	8,358	6,661	5,710	3,149	3,418	27,298	—	27,298
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	106	13	23	2	146	△146	—
計	8,358	6,767	5,723	3,173	3,421	27,445	△146	27,298
セグメント利益	1,592	898	965	507	△220	3,743	△185	3,557

(注) 1. セグメント利益の調整額△185百万円は、全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む)及びのれん償却額は、次のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	289百万円	290百万円
のれん償却額	414百万円	330百万円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	システム開発事業				ソリューション事業	
	金融IT	産業IT	社会基盤IT	ITインフラ		
システム開発	7,758	5,559	4,905	2,430	—	20,653
保守・運用	—	53	29	269	—	352
その他	125	267	155	224	—	773
サービス	—	—	—	—	2,729	2,729
プロダクト	—	—	—	—	772	772
顧客との契約から生じる収益	7,883	5,879	5,091	2,924	3,502	25,281
外部顧客への売上高	7,883	5,879	5,091	2,924	3,502	25,281

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	システム開発事業				ソリューション事業	
	金融IT	産業IT	社会基盤IT	ITインフラ		
システム開発	8,130	6,353	5,564	2,655	—	22,705
保守・運用	0	62	29	282	—	375
その他	227	245	115	211	—	799
サービス	—	—	—	—	2,560	2,560
プロダクト	—	—	—	—	858	858
顧客との契約から生じる収益	8,358	6,661	5,710	3,149	3,418	27,298
外部顧客への売上高	8,358	6,661	5,710	3,149	3,418	27,298